

改正道路交通法により来年6月から駐車違反の取り締まりが民間委託される。駐車監視員は街中で取り締まりを行う民間人です。取り締まり方法は、タイヤにチョークで印をつけ、一定時間経過後に摘発する現行方式は廃止し、これからは駐車監視員が違法駐車を発見次第、デジタルカメラで違反車両の証拠写真を撮影して、即ステッカーが貼られることになる。

盗難キャッシュカードで預金を不正に引き出された場合の補償について、金融庁はこのほど、預金者に重大な過失がなければ預金者と金融機関が被害額の50%づつを負担しあう案をまとめた。預金者に重大な過失があった場合は預金者の全額負担。重大な過失とは、他人に暗証番号を知らせたなど。

2005国民平和大行進 大阪府内 日程・コース



被爆60年、「核兵器なくせ」の願いを込めて

背景にある大阪市の責任も追及

移ります。最近の大阪市はマスのコミの報道などによると、労働組合を無視した言動が目立ちます。大阪市の厚遇問題を糾弾することに異議はありませんが、労働者なしに市政は運営できません

ん。何もかも上から押さえるのではなく労働者と協議して、市長自らが市民に説明すべきです。今、自治体の職場では、指定管理者制度などアウトソーシングが始まっていますが、これらの

制度の目的は人件費の削減です。非正規の職員で従来の業務を行い利益を出し企業を潤すものです。市バス労組では、これらの背景にある自治体の責任を追及しています。雇用関係にあ

る三セクは管理能力や責任感はなく、ただ当局の指示に従っているだけです。背景資本となる交通局は、雇用関係がないという理由で団交にも応じませんが、今回大阪府の命令を受けたことで、市長にも謝罪義務が発生します。ここを突破口に良好な労使関係の構築に向かうため奮闘していきます。

職場はいま

104

職・場・メ・モ

大阪市バス労働組合（市バス労組）は、大阪市交通局の三セクの1つ、大阪運輸振興株式会社に勤務するバスの運転手で作る組合です。市バス労組以外に大阪交通関連企業労働組合があります。

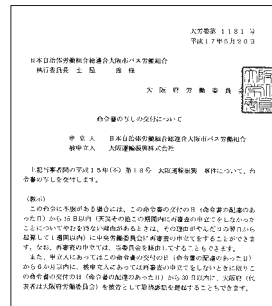
安全に自由にどこへでも移動できることは憲法が定めた国民の権利です。私たちの職場は公共交通の一端を担う大阪市バスであり、大阪市内でバスを走らせ市民の足を守っています。



淀屋橋で宣伝カーから訴える公務公共一般労組の岩坪さん

公平な組合説明会と掲示板を 府労委命令を力に改善へ

大阪市バス労働組合



府労委の証言台で大阪市の担当者は、「新規採用者に対する労働組合の説明会は当局の好意ですることで、しなくてもいいものだ。便宜供与であるから、労働者の意見を聞く必要はなく、当局

の好みなようにする。多数組合を先に開催させることは当然である」と証言していました。これに対して府労委は「便宜供与であればなおさら公平にしなればならない」と判定をしました。市バスの営業所の廊下には労働組合の掲示板があります。大阪交通労組（連合）とそのOBで組織する大阪交通関連企業労働組合の掲示板はみんなが見やすい場所に設置し、市バス労組の掲示板は廊下の端っこにつけました。しかも営業所の所長は節電と称して市バス労組の掲示板の前の蛍光灯の球を外してしまいました。人間のすることは思えない姑息な手段です。

そして、大阪府が施設管理上、市バス労組の掲示板は廊下の端っこが適当としたことについて、府労委は、意味のない理由であり併存労働組間の差別が生じないようにする義務を怠り、市バス労組の弱体化を図る支配介入行為であり、不当労働行為であると認定し、市バス労組の希望する場所に掲示板を移動するように命令しました。

謝罪文の手交については、市バス労組に対して雇用主である大阪市の三セク「大阪運輸振興株式会社」の社長名でお詫びの文書を出すように求めています。

命令を受けて市バス労組では市長に対して管理責任の追及に

良好な労使関係をつくりたい

の好きなようにする。多数組合を先に開催させることは当然である」と証言していました。これに対して府労委は「便宜供与であればなおさら公平にしなればならない」と判定をしました。市バスの営業所の廊下には労働組合の掲示板があります。大阪交通労組（連合）とそのOBで組織する大阪交通関連企業労働組合の掲示板はみんなが見やすい場所に設置し、市バス労組の掲示板は廊下の端っこにつけました。しかも営業所の所長は節電と称して市バス労組の掲示板の前の蛍光灯の球を外してしまいました。人間のすることは思えない姑息な手段です。

そして、大阪府が施設管理上、市バス労組の掲示板は廊下の端っこが適当としたことについて、府労委は、意味のない理由であり併存労働組間の差別が生じないようにする義務を怠り、市バス労組の弱体化を図る支配介入行為であり、不当労働行為であると認定し、市バス労組の希望する場所に掲示板を移動するように命令しました。

謝罪文の手交については、市バス労組に対して雇用主である大阪市の三セク「大阪運輸振興株式会社」の社長名でお詫びの文書を出すように求めています。

利用者の安全と働きがいある職場のために